

防災ギャザリング2012from かながわ 実施報告書

<開催日時・場所・プログラム>

体験型「市民防災・減災訓練」

実施日時：平成24年1月21日（土）午前9時30分～午後1時
開催場所：横浜市民防災センター・沢渡中央公園

講演会「東日本大震災に学ぶ 今後の地震対策」

午後3時～午後5時

開催場所：かながわ県民センター2階ホール

講師 名古屋大学大学院 福和伸夫教授

(神奈川消防署 平成23年度 第4回かながわ防災セミナー)

「防災、災害救援活動団体交流会」

実施日時：平成24年1月22日（日）午後1時～午後7時

開催場所：かながわ県民センター2階ホール

防災ギャザリング2012from かながわ実行委員会

★ 体験型「市民防災・減災訓練」

実施日時 :平成24年1月21日(土) 午前9時30分～午後1時

開催場所 :横浜市民防災センター・沢渡中央公園

実施内容 :近い将来発災することが予想されている神奈川県東部地震をはじめとする、いわゆる首都圏直下型地震からの被害をできる限り小さくするための**体験型「市民防災・減災訓練」**を実施しました。

- 横浜市周辺で大規模な地震が発災した場合には、行政もその被災者となります。市民は、行政の支援を待つことなく**自らが、わが身と家族の安全を確保**し(自助)、その上で近隣の人々と手を携え(共助)て発災からの数十時間を乗り越えることになると思われまます。そのことを想定しての体験型防災・減災訓練を計画・実施をしました。
- 本企画は、防災活動インストラクターの指導のもとで発災直後から、自らまた近隣の人々と連携しながら地域の中で、災害の中を生きて乗り越えるために必要な「知識、技能、過去の災害から学んだ知恵」などを、参加者自身が体験して学ぶことを目的とする形式を採っております。
- 本体験型防災・減災訓練で学んだことを生かして、参加者自身が平時の地域防災・減災活動を充実させる材料として欲しいと願っての企画です。依然として続いている行政の住民動員型のシナリオ付き、展示型の、マンネリ化した「防災訓練」かえって行政依存症の住民を増やすことになるのではないかと危惧しています。可能な限り「展示型防災訓練」から脱却して、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自発的、体験的な、「防災・減災訓練」へ踏み出すきっかけとなることを期待するものであります。
- 横浜市や各区が行う防災に関する講習や講座、防災団体の各種講座を受講する市民は決して少なくありません。しかし、多くの講座修了者は、所期の夢を果たせないままに市中に埋もれてしまってどのような活動に参加したらよいのか分からない状況です。これらの人材が、この体験型防災・減災訓練をきっかけに「技」を得て、それを力として地域へデビューするためのチャンスとして活用してもらいたいと願っての企画です。
- この体験型防災・減災訓練を通じて、地域防災活動をしている人や団体同士がつながることによって、防災・減災活動に携わる人々のネットワークを創出、強化する場となれば「あんぜん・あんしん 横浜市」が実現することになり万一のときの大きな力になるものと期待しています。

主催 : 防災ギャザリング2012 from かながわ実行委員会

共催 : 神奈川災害ボランティアネットワーク

協力 : 横浜市消防局(神奈川消防署、横浜市民防災センター、本部特別高度救助隊(SR)、危機管理室)、横浜市神奈川消防団、神奈川県警察本部、陸上自衛隊第31普通科連隊、横浜市神奈川区役所、NTT東日本神奈川支店、NTTドコモ神奈川支店、東京ガス横浜支店、横浜市資源循環局北部事務所、神奈川区立公立中学校、日本赤十

字社神奈川県支部、NPO日本防災士会、(独)防災科学技術研究所、かながわ県民活動サポートセンター

協 賛： 災害救援ボランティア推進委員会、防災塾・だるま、神奈川火災予防協会、横浜市民共済生活共同組合神奈川連絡所、全労済神奈川県本部、神奈川大学、神奈川県災害救援ボランティア推進委員会、とつか災害ネット、ざま災害VN、はだの災害VN、横須賀災害VN、相模原災害VN、磯子区災害VN、西区災害VN、海老名災害VN、逗子災害VN、あいかわ災害VN、川崎災害VN、横浜災害VN、旭区災害ボランティア連絡会、神奈川県歩け歩け協会、ボーイスカウト神奈川連盟、都市防災研究会、神奈川女性防災、神奈川県生活協同組合連合会(株)ミツハシライス、(株)ヨネヤマ、日清オイリオグループ(株)、三菱食品(株)、ニコニコのり(株)、小倉屋昆布食品(株)、(株)ホテイフーズコーポレーション、ヤマサ醤油(株)、味の素(株)、マルコメ(株)、上野砂糖(株)、キューピー(株)、カルビー(株)、ブルボン(株)、マルハニチロ(株)、クラウンフーズ(株)、東京電力神奈川支店、コープかながわ、パルシステム神奈川ゆめコープ)

後 援： 内閣府、神奈川県、神奈川県社会福祉協議会、横浜市社会福祉協議会、朝日新聞横浜総局、読売新聞横浜支局、毎日新聞横浜支局、日本経済新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、神奈川新聞社、FMヨコハマ (順不同)

体験課目・展示課目：

受付(西区災害VN・「防災塾・だるま」・防災ギャザリング実行委員会)

① 炊飯袋による炊き出し訓練(ざま災害VN・ボーイスカウト神奈川連盟)

② 水運搬体験(ざま災害VN) ※悪天候が心配されたため安全を考えて中止

③ ロープワーク基礎(秦野市防災士会)

④ ロープワーク応用(災害救援ボランティア推進委員会SL)

⑤ 要援護者搬送車両移乗体験(ソクラテスプロジェクト)

⑥ 心肺蘇生法(横須賀災害VN・日赤防災ボランティア)

⑦ 包帯・三角巾の使い方(横須賀災害VN・日赤防災ボランティア)

⑧ 家具転倒防止の体験(災害救援V推進委員会・日本防災士会横浜市支部)

⑨ トランシーバ操作体験(非常通信協力会磯子区支部)

⑩ 非常用工具類の使い方(横浜防災ライセンス・神奈川有志・「防災塾・だるま」)

⑪ 発電機及び電気の操作(横浜防災ライセンス・神奈川有志・「防災塾・だるま」)

⑫ 非常用トイレ体験(はだの災害VN)

⑬ 防災・減災クイズ(とつか災害VN・旭区災害ボランティア連絡会)

⑭ 防災紙芝居・防災アイデアコーナー(かながわ女性防災・都市防災研究会)

⑮ サバイバルカードの作成(全労済神奈川県本部)

⑯ 非常食をひと工夫する体験(神奈川生協連)

⑰ 防災マップ作り(防災科学技術研究所)

⑱ 消防訓練展示(神奈川消防署)、横浜市消防音楽隊演奏

⑲ 消防車両展示・はしご車試乗体験

⑳ 神奈川県警災害救助車・陸上自衛隊災害救助車展示

参加対象者：地元町内会・自治会・自主防災会等で活動されている方・これから活動される方、中学生、市民など

来場者数：参加者合計 750名（自治会町内会関係者 400名 地元中学生以下 100名
その他 行政・企業・災害ボランティア関係者）

当日は曇り空で、非常に寒くあられも降りましたが、来場者は熱心に体験をされていました。

来賓： 鈴木横浜市消防局長・岡田神奈川県長・荒巻神奈川県消防署長
防災・減災フェアの様子



受付



県警



東京ガス

NTTドコモ



NTT東日本



横浜市資源循環局



来賓挨拶



荒巻署長より中学生に終了証授与



消防団



救助訓練



音楽隊演奏



S R 救助車



はしご車



バキュームカー



自衛隊災害救助車



発電機操作



N T T 東日本指揮車



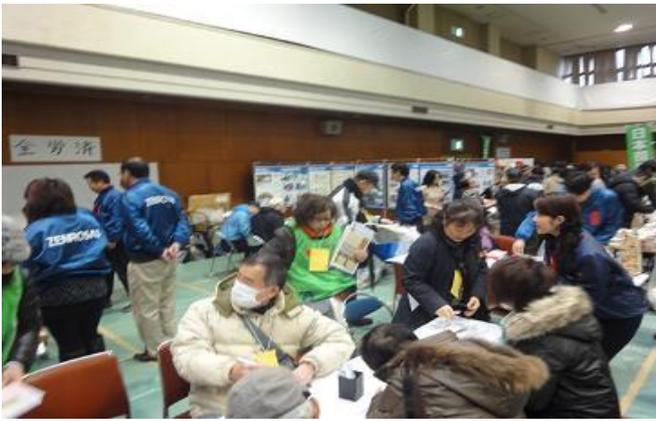
県警災害救助車



神奈川火災予防協会



N T T ドコモ指揮車



個人カードの作成



ガラス飛散防止体験



非常食体験



家具転倒防止体験



三角テント



防災マップ体験



ロープワーク体験



心肺蘇生法体験



被災地写真展示



炊飯体験



防災クイズ



防災頭巾の作り方体験



手工具展示体験



車いす移乗体験



非常用トイレ



応急包帯

講演会「東日本大震災に学ぶ 今後の地震対策」

開催日時：平成24年1月21日午後3時～午後5時

開催場所：かながわ県民センター2階ホール

講師：名古屋大学大学院 福和伸夫教授

(神奈川県消防署 平成23年度 第4回かながわ防災セミナー)

目的：近い将来において想定されている地震に対する備えをする必要性を理解してもらうために開催しました。

内容：主に家屋の耐震対策と家具の転倒防止対策の必要性を写真、実例を交えてお話しされました。

来場者数：200名

★ 「防災、災害救援活動団体交流会」

実施日時：平成24年1月22日（日）午後1時～午後7時

開催場所：かながわ県民センター2階ホール

目的：東日本大震災を踏まえた、神奈川県地域防災計画の見直しと地震津波対策、各団体の取り組みと災害ボランティアを取り巻く状況がどのように変化し、それにどのように対応していき、体制作りをどのようにしていくかを、全国各地の動き、県内各地の活動を今後の活動の糧にし、県内の防災に取り組む団体がより緊密につながることを目指しました。

主催：防災ギャザリング2012 from かながわ実行委員会

協力：かながわ県民活動サポートセンター

来賓：神奈川県安全防災局危機管理部長 佐藤 清様

来場者数：延べ 150名

● 「神奈川県の防災対策について」

神奈川県安全防災局危機管理部災害対策課計画グループリーダー
萩原伸夫氏

東日本大震災の被害状況と県の取り組みの詳細について説明をいただきました。また今後の神奈川県の地震防災対策について、国の防災基本計画の修正に伴い、県の地域防災計画の見直しのお話しをいただきました。中でも大震災後の災害ボランティアの活動、また地域防災力の強化に対する災害ボランティア活動の取組に対する期待度の高まりがみえる内容を話されました。

● 桂枝太郎師匠による防災に関する落語（岩手県出身）

● 県内各団体による、東日本大震災に対する取り組み報告会

神奈川災害ボランティアネットワーク 鈴木幸一氏

被災地支援のたいやきプロジェクトの報告をしていただきました。

見守隊 高松清美女史

神奈川県内に避難している人々への現状を報告していただきました。

赤十字防災ボランティアリーダー 和田誠一氏

被災地での活動を報告していただきました。

かながわ東日本大震災ボランティアステーション 山内淳氏

ボランティアバスでの被災地支援の活動を報告していただきました。

●「身近な防災・減災への取り組みについて」 神奈川県消防署 荒巻署長

ご自宅での家具転倒防止策を、写真を交えてわかりやすく説明していただきました。

●津波の人形劇 ソクラテスプロジェクト

おなじみの「そのまんま横町」の住民が、江戸時代にタイムスリップして、津波体験をする物語を演じていただきました。

●「今後の神奈川における災害ボランティア活動について」

神奈川県災害ボランティアネットワーク代表 植山利昭氏

現在取り組んでいる東日本支援のための「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業」を継続するための方策、神奈川県内に想定される災害に備えて、地域での防災減災活動を強化する、長期的になるであろう、県内避難者や東日本の復興への支援体制を整えるために「神奈川の知恵」を結集したいと報告していただきました。

報告の様子



佐藤氏



萩原氏



桂枝太郎師匠



鈴木氏



高松氏



和田氏



山内氏



荒巻氏



人形劇



植山氏

防災ギャザリング2012fromかながわ収支報告書

開催日 2012年1月21日(土)22日(日)
 開催場所 横浜市防災センター・沢渡中央公園
 かながわ県民活動サポーターセンター2階ホール

収入の部

1	前年度繰越金	74,493	
2	21日参加費	100,800	336人×300円
3	神奈川県災害ボランティア補助金	50,000	
4	災害救援ボランティア推進委員会	50,000	
5	全労災神奈川	30,000	
6	参加会費(1口2000円)	44,000	10団体・12個人
7	寄付	65,000	6団体・1個人
合計		414,293	

支出の部

1	チラシ印刷	43,312	
2	各種材料	15,929	
3	紙代	25,906	
4	会場設営	12,145	
5	おにぎり購入費	19,688	
6	保険	28,000	
7	講師謝礼	60,000	
8	郵送料	46,720	
9	リノグラフィード	13,000	
10	車代	5,000	
11	報告書作成	10,000	
合計		279,700	
繰越金		134,593	
総合計		414,293	

「防災ギャザリング2012fromかながわ」を終えて

今回の防災ギャザリングでは、2つ目的を持って行いました。①神奈川県内で災害ボランティアの活動をしている団体と人のネットワークを広げるためお互いの活動を知る機会を作る場を提供すること。②日頃から防災のボランティア活動をしている人や防災に関心がある人が、地元で提供できるスキルを身に付けることができる機会を作ることでした。

21日は、横浜市民防災センター・沢渡中央公園で「防災・減災活動体験フェア」を行いました。

基本コンセプトは、「見学者のいない体験型防災・減災活動イベント」として、来場者に対し各団体が持っている「技」「知恵」「知識」を提供し地域住民が自らの「体験学習」を通じて地元での活動に活かすというものでした。多くの種目を行うことで、参加者が地元で提供できるスキルを提供することができたと思います。

また、神奈川県消防署の協力によるレスキュー隊のデモンストレーションは、参加者全員が消防活動の実践を見ることで安心感をもてたのではないかと感じました。福和先生の講演会は、建物の耐震性の確保の重要性を強調されました。

22日は、防災ボランティアのネットワークを広げる場として、講演会、交流会を開催しました。

6時間を6部構成で実施、1部では今後の神奈川県地震津波防災対策に対する取り組みについての説明をわかりやすくしていただきました。2部では、初めての試みとして岩手県出身で

被災地支援をしている、桂枝太郎師匠による落語の講演をしていただきました。

3部では、東日本大震災支援活動している団体の発表を聞くことにより、情報交換ができたと思います。

4部では、荒巻照和神奈川消防署長ご自身が自宅で実践されている家具転倒防止策を写真を交えてわかりやすく説明され、聞いた皆さんが納得して実践されることを期待しています。

5部では、ソクラテスプロジェクトの人形劇で「そのまんま横町の津波」を上演していただきました。

6部では、神奈川災害ボランティアネットワーク代表の植山さんによる今後の防災減災活動に対する取り組みを講演していただきました。

最後に、「防災ギャザリング2012 from かながわ」を行うにあたり、多くの関係機関および関係団体のご支援・ご協力をいただきましたことを、心よりお礼申し上げます。

来年度も、平成25年1月19・20日に「防災ギャザリング2013 from かながわ」の開催を予定しています、皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願いいたします。

防災ギャザリング2012 from かながわ実行委員会

実行委員長 森 清一

平成24年2月20日